

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/3 （7/27との比較）	8/3 （7/27との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.35% （+0.06）	85.64円 （+0.65%）	+2.3% 2018年1Q	1.50%	発表されたGDP（国内総生産）や貿易収支は市場予想を上回る結果。貿易赤字が前月から急減し、市場がこれを好材料と受け止めたことなどから、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	住宅着工件数や雇用統計などが発表予定。祝日を挟み営業日が少ない中、発表される雇用統計は、カナダ中銀が秋に実施予定の利上げの判断材料となりえることから注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.66% （▲0.04）	30.01円 （+0.33%）	+1.2% 2018年1Q	6.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。中銀は5月に起きたトラック運転手による全国的なストライキの影響で、景気回復が遅れる可能性があるとの見方を示唆。レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	IPCAインフレ率や小売売上高などが発表予定。10月に予定されている大統領選挙の行方に引き続き不透明感が漂うことには注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.68% （▲0.06）	5.99円 （+0.57%）	+2.7% 2018年2Q	7.75%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉において、主要分野で合意に至る可能性が高いと示唆されたことなどから、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	CPI（消費者物価指数）や鉱工業生産などが発表予定。NAFTA再交渉の行方や新政権の動向には引き続き注意が必要なものの、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/3 (7/27との比較) 今後の見通し (※4)	8/3 (7/27との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.73% (+0.08)	82.32円 (+0.20%)	+3.1% 2018年1Q	1.50%	発表された貿易収支や小売売上高は市場予想を上回る結果。日銀による金融政策決定会合で、金融緩和維持のための枠組み強化が発表されたことなどから、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	中銀による金融政策決定会合では、政策金利の据え置きを予想。中銀総裁の講演、四半期ごとの金融政策報告書など、中銀にまつわるイベントが多く予定。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.79% (+0.06)	75.02円 (▲0.50%)	+2.7% 2018年1Q	1.75%	発表された企業景況感には前回比弱めの結果。雇用関連の指標に関しては、平均時給が市場予想を大きく下回ったことなどから、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	中銀による金融政策決定会合では、政策金利の据え置きが予想されており、相場への影響は限定的と想定。米中貿易摩擦や米国金利の動向に影響を受けやすい展開が想定され、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.85% (+0.01)	13.46円 (▲0.70%)	+0.3% 2018年1Q	0.50%	発表された小売売上高や失業率は市場予想を下回る結果。また、製造業PMI（購買担当者景気指数）も前回比弱めの結果となったことなどから、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	CPIやPPI（生産者物価指数）、鉱工業生産などが発表予定。海外市場に影響を受けやすい地合いの中、比較的安定した原油価格などが下支え要因となることから、為替は底堅い推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/3 （7/27との比較）	8/3 （7/27との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.15% （+0.10）	8.35円 （▲0.93%）	+0.8% 2018年1Q	6.50%	発表された貿易収支は市場予想を上回る結果となったものの、民間部門のPMIは市場予想を下回る結果。景気拡大・悪化の分かれ目とされる50を下回ったことなどから、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業生産などが発表予定。米中貿易摩擦に対する不透明感が残る中、土地収用などの内政問題も重石となっていることなどから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.72% （+0.06）	0.77円 （▲0.47%）	+5.1% 2018年1Q	5.25%	発表されたCPI及びコアCPIの前年比伸び率はやや加速。31日の国債入札では、投資家の需要が強かったものの、財務省は予定よりも増額発行したことなどを背景に、国債利回りは上昇。ルピアは対円で下落。	外貨準備高やGDPなどが発表予定。中銀が今年3回政策金利の引き上げを実施したことなどによる、国内景気への影響度合いに注目。国内景気が底堅く推移する場合、為替の下支え要因になると想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.87% （▲0.05）	1.62円 （+0.30%）	+7.7% 2018年1Q	6.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の引き上げを決定。発表された製造業PMIは、景気拡大・縮小の分かれ目である50を12カ月連続で上回ったことなどから、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは低下。	鉱工業生産などが発表予定。海外の金融市場の影響を受けやすい地合いではあるものの、国内の底堅い経済環境を受け、債券・為替市場はともに底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

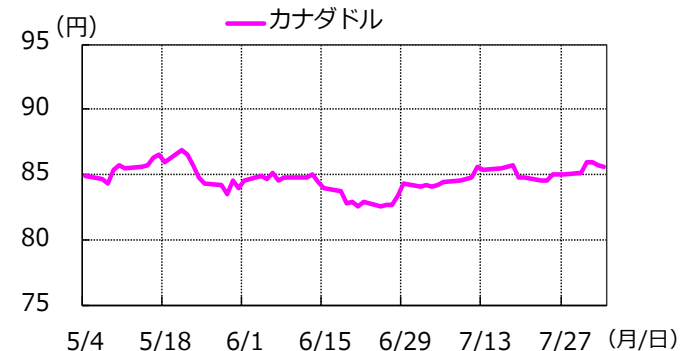
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

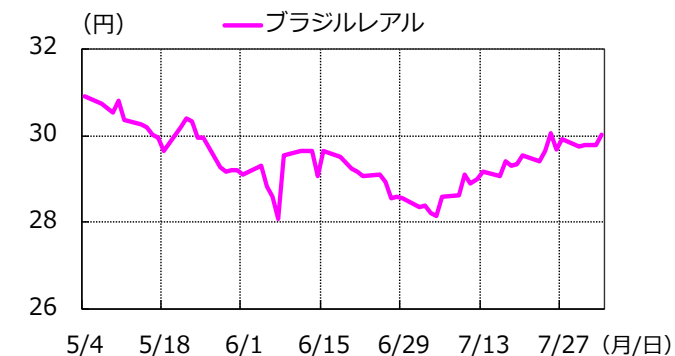
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/5/4～2018/8/3

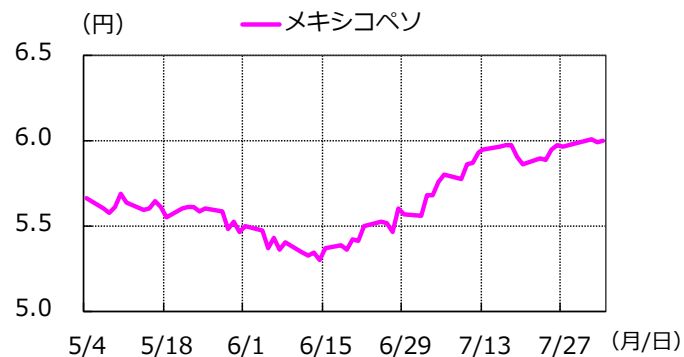
カナダ



ブラジル



メキシコ

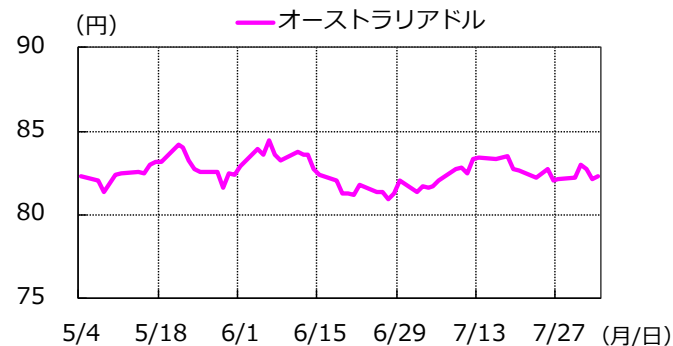


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

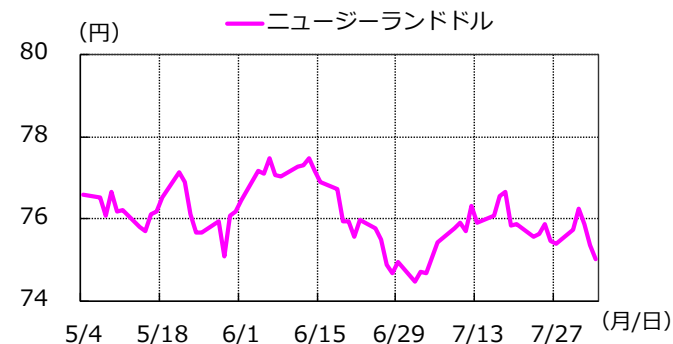
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/5/4～2018/8/3

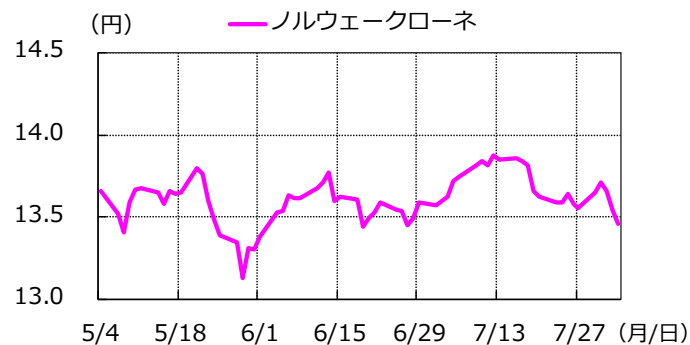
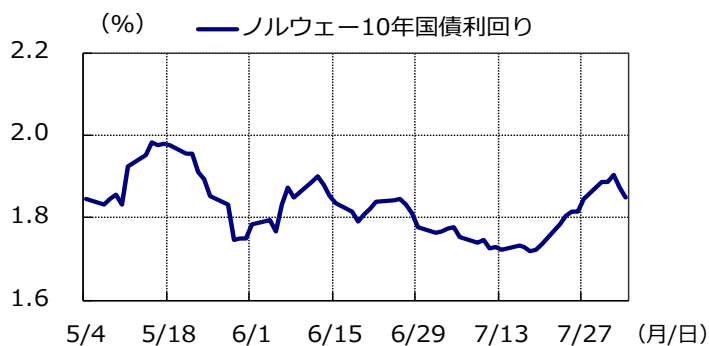
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

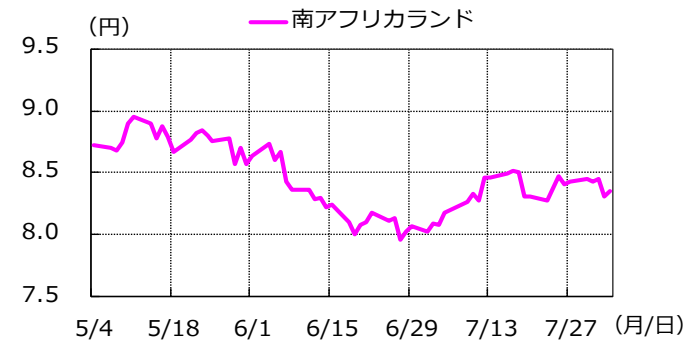


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

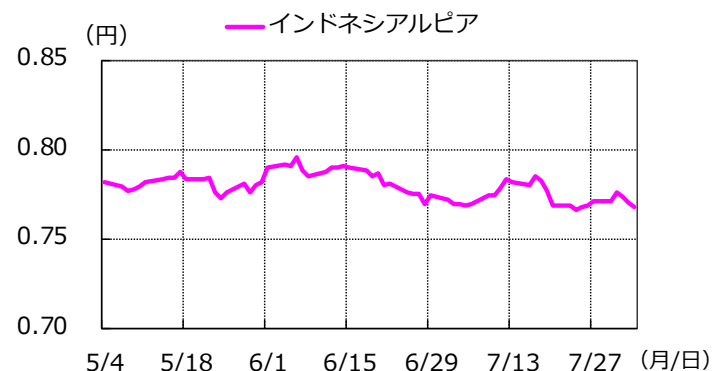
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/5/4～2018/8/3

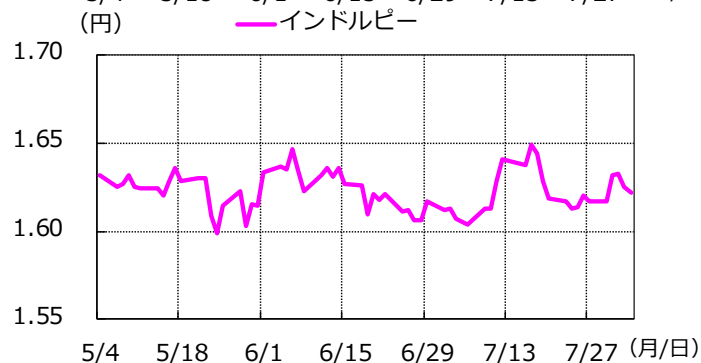
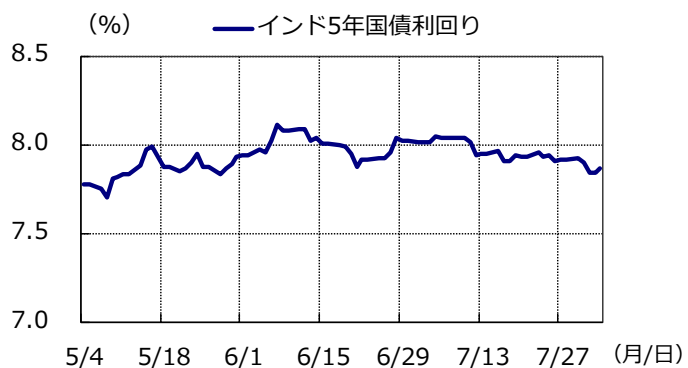
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。



# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。